



狛江市立狛江第五小学校だより 《学校の教育目標》 明るい子 考える子 強い子

がくとう

令和3年9月30日発行

校長 伊藤 栄司

10月号 No. 6

こすげウイーク

校長 伊藤 栄司

今月、25日から「こすげウイーク」と題し、中止になった五小夏まつりに代わる体験型の行事を行います。特産品のヤマメを使った給食の献立やクイズなど、夏まつり実行委員会の皆さんが子供たちのために考えてくださいました。夏まつりで伝えなかった熱い思いを存分に発揮する楽しい企画になりそうです。

小菅村と狛江市

小菅村は山梨県の最東部に位置し、秩父多摩国立公園内にある人口664人※の自然豊かな村です。

多摩川の源流があることから、小菅村の方々が平成6年の「狛江古代カップ多摩川いかだレース」に参加されて以降、交流が始まりました。交流の中心となって尽力した一人が本校18代PTA会長千葉桂樹さんでした。千葉さんの発案による「狛江五小夏まつり」や「多摩川源流体験教室」、「狛江団地自治会夏祭り」などが行われ、活発に交流するようになりました。

また、平成18年には狛江市民と小菅村民との「住民交流友好都市宣言」が行われ、現在も住民主体の交流が盛んに行われています。

狛江五小夏まつり

例年、狛江五小夏まつりは1学期終業式後に実施しています。まつりのメインは、川の女王と言われるヤマメを小菅村から運んでもらい特設の水槽に放し、子供たちが手づかみで捕まえるイベントです。捕まえたヤマメはその場でワタをとり、体育館横の焼き場でふっくらと焼き上げて食べることができるので、毎年、大勢の人で賑わっています。また、芝生ではスプリングラーでの水遊びや協力団体による遊びのブース、小菅村の物産展など子供だけでなく大人も楽しいまつりです。

まつりを楽しみながら小菅村の豊かな自然を感じるとともに、大切な命をいただく貴重な体験として続けられています。

コロナ禍での取り組み

残念ながら感染症予防のため、今年度と昨年度の「狛江五小夏まつり」は中止になりました。しかし、例年行っていた貴重な体験を子供たちに味わわせてあげることができないかと、今年度の夏まつり実行委員会の皆さんは考えました。何度も会合を重ね、アイデアを出しながら進めてきました。

また、緊急事態宣言前の7月3日には実際に小菅村に行き、交流活動を進めている皆さんのお話を伺ったり、今、力を入れているマコモダケの畑やヤマメの養殖場の見学をしたりと、より充実した「こすげウイーク」になるように努力を重ねてきました。

私も五小代表として生きたヤマメのワタを取り、焼いて食べる貴重な体験をさせていただきました。魚を捌いて食べる様子はビデオに収めてきましたので後日、紹介します。

子供たちのために何かできることはないかと真剣に考え、取り組んでくださった夏まつり実行委員会の皆さん、五小のためにとご尽力いただいた小菅村の皆様、小菅村の案内をしてくださった元PTA会長の千葉さん、住友さんに心より感謝申し上げます。

25日から始まる「こすげウイーク」が今から楽しみです。 ※令和3年8月1日現在

10月の予定

4日(月)	委員会活動	学年朝会(安全指導日)
9日(土)	多摩川清掃	
11日(月)	5時間授業(※1年生は4時間授業)	
12日(火)	あいさつ運動開始	
15日(金)	あいさつ運動終了	
16日(土)	運動発表会	

18日(月) 振替休業日

19日(火)	笑育(6)
21日(木)	避難訓練
22日(金)	校外学習(6)
25日(月)	クラブ活動
26日(火)	校外学習(1)
28日(木)	校外学習(2)
29日(金)	給食ヤマメメニュー

10月の生活目標： みんなで使うものや場所を大切にしよう

掃除の時間になると、五小の子供たちは一生懸命に学校中を綺麗にしています。これは素晴らしい五小の子供たちの自慢できる姿の一つです。きっと、掃除をしながら、「みんなが使う場所だから、気持ちよく使えるようにしよう」など人のことを考え行動できる子供たちが多くからだと思います。

さて、掃除に限らず、学校にはみんなで使う物や場所がたくさんあります。例えば、クラスのボールや体育のゼッケン、教室や校庭、芝生、のものすの山……。どれもみんなが使いたいときに自由に使えます。しかし、みんなが自由に使うためには、クラスのボールを元の場所にしまったり、ゼッケンを綺麗にたたんでおいたりすることが大切です。「みんなで使うものや場所を大切にしよう」とは、次に使う人のことを考えて使いやすい状態にしておくことです。いつも人のことを考え、行動する気持ちを今後も磨き続けることができるよう指導していきます。

(生活指導委員会：鈴木 啓史)

《運動発表会》

新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、今年度は運動会の名前を「運動発表会」と変え実施します。内容は表現運動と短距離走の2種類とし、2学年ごとに発表を行います。保護者の皆様は各ご家庭2名まで参観できますので是非、ご来校ください。

各学年ともに9月中旬より練習を始め次第に上手にダンスを踊ったり、走ったりできるようになってきています。また、同学年の友達と声を掛け合い協力することで一つの作品を創り上げる貴重な機会にもなっています。

子供たちの一生懸命頑張る姿を楽しみにしててください。当日までの体調管理や励ましの言葉がけなど、ご協力をお願いします。

(体育的行事委員会：鈴木 啓史)

オリンピック・パラリンピックを見て

オリンピック・パラリンピックを見て、夢や憧れを抱いた子、選手の頑張りを自分の生活の中に生かせることを学んだ子。子供たち一人一人の心の中にどのような影響を与えたのでしょうか。子供たちの感想を紹介します。

- 【1年】
- 1組 跳び込み台のはじに立って平気な顔でプールに跳び込んだのがすごいと思いました。(M.R)
 - 2組 日本対ニュージーランドの試合を見て勇気をもらいました。僕もこれから頑張りたいです。(K.S)
 - 3組 ブラインドサッカーは目が見えない状態でスーパーゴールを決めていたのがすごいと思いました。(K.O)
 - 4組 パラリンピックのマラソンで足が不自由でも最後まで頑張って走っていて感動しました。(U.Y)
- 【2年】
- 1組 僕もオリンピックの選手になって1位を取り、日本の人達を喜ばせたいと思いました。(S.R)
 - 2組 パラリンピックで、目が見えない人が走っていることがすごいと思いました。(O.K)
 - 3組 13年ぶりのソフトボールで、前回のように金メダルを取ることができてすごかったです。(Y.T)
- 【3年】
- 1組 パラリンピックの視覚障害の水泳で、目が見えなくても怖がらずに泳いでいることを尊敬しました。(H.Y)
 - 2組 野球の試合を観ました。この状況の中、全力で頑張る各国の選手たちの姿に勇気づけられました。(S.S)
 - 3組 サッカーの試合で日本が負けた時、悲しむ日本の選手を慰めるメキシコの選手を見て感動しました。(S.Y)
- 【4年】
- 1組 新競技のスケートボードで選手たちが対戦相手を励ましていたのにびっくりしました。(A.K)
 - 2組 卓球ダブルスが一番印象的でした。卓球王国の中国に勝つことができて嬉しかったです。(K.M)
 - 3組 卓球のダブルスで2人の選手が協力して対戦相手を倒した時、私も嬉しくなり、はしゃぎました。(M.S)
- 【5年】
- 1組 応援した人が勝つ(メダルを取る)となんだか、私がメダルを取ったように喜べました。(K.K)
 - 2組 皆が一人ひとり全力で取り組み、全力を尽くしているところに感動しました。私も何事も挑戦したいです。(S.M)
 - 3組 13歳の選手でも金メダルがとれたので、頑張ることが大切だと学びました。(T.K)
 - 4組 どんな状況になっても、あきらめなくて努力を続けることの大切さを学びました。(K.R)
- 【6年】
- 1組 卓球の試合、日本も中国も熱い戦いで、私は勇気をもらえました。次のオリンピックも楽しみです。(H.K)
 - 2組 全ての選手が汗流してそれぞれの試合に励み、一生懸命金メダルを勝ち取ろうとする姿に感動しました。(I.S)
 - 3組 日本代表の選手一人ひとりが目標に向かっていく姿に感動しました。次のオリンピックも頑張りたいです。(H.N)